

2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.001

釣行月日: 2008年05月24日(土) 09:00~16:40

天気: くもり後雨, 気温: ?, 水温:

河川: 杖立川(大分県)

水況: 薄濁り

釣果: 24尾, サイズ: 7cm~16cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 7, 6.5号3本錨

内容:

ダム湖産の天然遡上を求めて今年も釣行することにした。5月のGWに下見をしているので鮎がいることは確認済み。しかし、1尾めが来たとき獲り込んでみると25cm程のウグイではないか。1時間半を過ぎても掛からない。分流の細い流れで待ちの釣りをしようやく天然を確保。昼くらいから雨が降り出しかなりきつくなってきた。カッパを車まで取りに行くかどうか迷っているうちにびしょ濡れなる。一時止めて、車まで戻ることにした。小雨になるまでしばらく待つことにした。2時過ぎだったか釣りを再開することにした。細い流れを攻めてポツリポツリではあるが掛かった。雨もまた降り出し、段々と濁りが出てきて水位も上がってきているようなので、中洲に取り残されないうちにやめることに。



No.002

釣行月日: 2008年05月25日(日) 10:20~17:40

天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温:

河川: 大山川(大分県)

水況: 薄濁り

釣果: 46尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 7, 6.5号3本錨, 先掛: 7号3本錨

内容:

昨日の雨で殆どどの河川が増水・濁りで釣りができるか不安で、道中川を見ながらダム上へと向かう。玖珠川は釣りが出来ず、大山川が不思議と濁りが無く水も高くない。釣り人も見られる。一昨年やった道の駅おやまで竿を出すことにした。以外と良く掛かるが身切れや石擦れ等で結構損失があった。久しぶりの釣りだと感覚がどうも鈍く動作がぎこちなく満足いくものではなかったが、今回の雨で釣りが出来ただけでも感謝。それなりに十分楽しめた。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.003

釣行月日: 2008年05月31日(土) 08:10~18:00

天気: 雨後くもり, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 薄濁り

釣果: 8尾, サイズ: 16cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): 複合メタル0.05, ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

午前中オトリ替わらず。雨も降ってきて寒くなる。オトリを再調達し、下流へ入る。何故か二人先客が居る。良く見れば倶楽部の人達じゃないか。皆思わしくないようだ。待望の1尾が来た溜めてたらバレル。結局掛からず。場所を見ながらウロウロしながら最終午前中の所に戻る。瀬で何とか掛かりホットし、オトリが替われば次は早い。やっぱオトリだね～。しかし完敗で自分の下手さに腹が立つ。



No.004

釣行月日: 2008年06月01日(日) 07:40~17:00

天気: 晴後くもり後雨, 気温: ?, 水温: 15℃

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 26尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

熊野川の解禁日だが、先日の大雨で本流は厳しそうなので支流へ行くことにした。初めての場所であるが水温が低くどうかと思うけど先行者はポツリポツリと掛けている。しかし、1尾めのオトリが数回の泳がせで元気が無くなる。いやな予感。昨日のことにならないよう、2尾めの養殖に交換。何とかヨレで1尾、小さい。場所移動、岩盤と石がある場所でやると元気な天然に替える事ができ、周辺で数尾確保。それにしても日が射すと溪相が綺麗で気持ちが良い。午後から当たりが遠のく。上流、下流と歩き回っても掛からず歩き疲れる。夕方、おにやんさんが声をかけてくれました。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.005

釣行月日: 2008年06月07日(土) 07:00~17:50

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 四村川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 46尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

今回は大塔川の反対の四村川に入ることにした。道路から見ると良さそうに見える。着替えて入ろうとしてたら車が1台来た。挨拶をして暫し話を、昨日入って2尾だったとか。もう少ししたら4人来られるそうだ。入川道を教えてもらって早速入ってみることに。大きめの石が入っているところから始めるけど掛からない。下に移動しながら釣るけど掛かる気配がない。さらに下がって瀬肩のチャラ瀬でようやく掛かる。ポツリポツリではあるが掛かるがペースが遅い。ウロウロしながらチャラ瀬のヘチで暫し入掛かる。昼過ぎには当たりも遠退きこの場所を諦める。次は場所を移動し、瀬肩のある瀬を探し誰も居なかったのをやることにする。垢が薄っすら付いて来たのか薄黄色に見える。瀬肩の波立ちで掛かる。周辺で良く掛かる。 たまたま宿泊場所大村屋に行くと谷口のオトリ屋のおばちゃんが手伝いに来られていた。情報によると四村川に入った人で81尾掛けたひとが居たと。すごいな~ 何処で掛かるんだろうか?



No.006

釣行月日: 2008年06月08日(日) 08:00~17:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 四村川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 55尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

昨晩は宿で寝ると雨が強く降っている音が聞こえてくる。一時停電もあり、オトリ缶が流されるのでは? 不安が過ぎる。朝起きて窓越しに大塔川を見てみるとスイスイで殆んど水位は変化していない。昨日、夕方攻めつくしていない所があるので同じ場所へ行くことにした。流石に人は居ない。午前中は水温も低めなのかポツリポツリしか追ってこない。10時くらいにはもう一つの瀬に移動してポツリしか掛からないが、昼頃は良く追うようになる。はやり太陽が出るのと活性も良くなるのか?



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 007

釣行月日: 2008年06月10日(火) 07:00~16:45

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 揖保川・引原川 (兵庫県)

水況: 濁無し

釣果: 23尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

ダイワ鮎マスターズの予選。会場前の瀬に入る。30分程しても掛からないし、オトリも青藻が絡んで取り外したりしてうちに弱って瀬ではもう無理。場所を変ろうにも何処見ても人、空いてるところを泳がせようにも藻だらけ。あ〜、無理やな〜と思って。瀬のヨレで弱ったオトリに鉛を付けてベタ竿で待つことにした。いい天気だな〜、と物思いに耽ってたらグリグリと感触が……。何とヨレヨレのオトリで掛かるとは、ゼロを免れたと一安心。しかし、次は来ない。その下に大石の裏が泡立ってたので其処に再度ヨレヨレのオトリに鉛を付けて頑張ってもらうことに…。おや? また掛かった。まぐれが2回も続くと……。その後掛からず、込み4尾で敗退。

倶楽部の人も駄目だったので、せっかくの良い天気だし引原川で釣りをすることにした。小場所狙いで石周辺を探ると掛かるけど、掛かり所が悪く頭に掛かったり、肝に掛かったりとオトリが変わらない。ようやく変ったかと思っても次ぎ掛かるのがまた腹掛かりと循環が悪く数がイマイチ伸びなかった。21尾だったが不満が残る。コケテずぶ濡れになったりと最悪の日だった。



No. 008

釣行月日: 2008年06月14日(土) 07:00~18:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 42尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

今年、初めて本流に入る。谷口オトリ店によるとダム放水が止まり水が引いてきているとのこと。様子を見ることにする。最初は手前のチャラ瀬を攻めるけど掛からない。何かが何時もと違う。それでも少し水深のある瀬でやるが掛からない。支流での傾向から瀬肩の波立ちでやるとようやくピリ鮎が掛かる。次は少し大きめのが掛かる。しかし、3尾掛かったのみ。釣り歩きながらも一つの瀬肩で大きめの鮎が2尾獲れた。瀬肩の上りのトロ瀬で黄色い鮎が連発したが、午後から数が伸びず。午後から支流も考えたが本流の傾向を確かめるため敢えて粘ってみた。掛かる場所が限られており時期的にまだ早いのか? それともダムが放水を止めたので水位が急に下がったからか?



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 009

釣行月日: 2008年06月15日(日) 05:00~17:30
 天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 17℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 平水, 濁無し
 釣果: 35尾, サイズ: 12cm~21cm
 仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
 仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

上桂川の解禁。山国は比較的良く掛かるであろうが、何時もの様に人の少ない下流へ入る。現地に着くと地元のS氏が待機していた。情報によると試し釣りでは1尾だけだったそうだ。う〜ん、でも今更移動する気にはなれない。S氏が竿を出すと直ぐ掛かるではないか。それではと、僕も早速準備をしてオトリを放つ。ゆっくりと引いていき少し緩めた時目印が上流に走る。これは掛かるぞ!と思い掛かり鮎をオトリに変えて泳がすとまた目印が走る。溜めて引抜こうとすると何とドンブリ。気を取り直し一からスタート。また直ぐ掛かる。次も即掛かる、しかしまたドンブリ。どうなってるだろう?ナイロン0.2に変えてみることにする。天然に替えることは時間を要さなかった。しかし、次に掛かった鮎を慎重に獲り込もうとしたが異常に引く力が大きく対岸の葦に突っ込まれアウト! 今までの釣りは何だったのだろうか?ただオトリを弱らせただけやん。意地でも天然を確保しなければと思い頑張る。その後、先程の様にテンボ良く掛かってくれなくなった。でも何とか16尾獲り込むことができた。もう掛からなくなったので場所移動することに。中江橋までの道中見てきたが解禁日とあって満員。空いているところに入って一時入掛かりもあって19尾追加できた。朝一のアクシデントが無ければ40尾は行けてたのになあ。



No. 010

釣行月日: 2008年06月21日(土) 09:00~18:00
 天気: くもり, 気温: ?, 水温: 18℃
 河川: 南川(福井県)
 水況: 平水, 濁無し
 釣果: 32尾, サイズ: 10cm~20cm
 仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
 仕掛(糸): ナイロン0.15
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

上桂川は増水で釣りにならないので、南川まで行くことにした。美山川、棚野川も殆んど増水しておらず、入川者も見られる。南川は殆んど水は増えてない。下中オトリ店下流に入る。最初はなかなか掛からず、1尾掛かったらポツリポツリと掛かり時折入掛かりもある。型も大きくナイロン0.15では厳しい。掛からなくなったので、場所移動。名田庄大橋に行く。なかなか掛からず、時間帯によって掛かる時がある様に感じる。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.011

釣行月日: 2008年06月22日(日) 09:00~16:40

天気: くもり時々雨, 気温: ?, 水温: 16°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: 増水, 薄濁り

釣果: 12尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): メタル0.02, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, V5: 7号3本錨, 先掛: 7号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

結構水が高いので上流へ入ることにした。川間橋上流は今年初めてなので掛かるか不安だったけど石のよれで良型が掛かる。高切れ, バラシがあり獲り込めなかったことが悔やまれる。午後に雨が降ってきたので場所を下流へと行くけどもまだ水が高くて思うようにならず完敗。



No.012

釣行月日: 2008年06月28日(土) 07:20~18:20

天気: くもり後雨, 気温: ?, 水温: 16°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水, 濁無し(周山0.44m)

釣果: 19尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

朝一は黒田に入る。1尾めは直ぐに来たが後が続かずウロウロと歩き回る。掛かって取り込む途中で団子になって切れる。2尾が旋回しながら下へ下っていく。あ~, 残念。養殖, 天然1尾ずつ残ったまま。先週掛かった場所まで行き, 何とか3尾追加。掛かりそうも無いので場所移動。何処も掛かりそうもなくたまたま手付かずの所に当たれば数尾来て終わり。場所を移動しても人が多く通り過ぎるだけ。殿橋上流を見てみると人が居ない。川を見てた近所の人に聞いてみると, 先程までは10人ほどズラーと並んでいたとの事。とりあえず空いているので入る。

何とかトロで9尾掛かる。20尾めも来たが取り込む途中でバレル。

平日に抜かれ, 土日は人が多くサンデー釣り氏には厳しい日々。難しい。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.013

釣行月日: 2008年06月29日(日) 09:20~13:00

天気: 雨, 気温: ?, 水温: 17°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: 高水, 濁有り, 周山0.57m

釣果: 5尾, サイズ: 13cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

7時過ぎに着替えてさあ出かけようとベストを着ようと・・・あっ、しまった！ベストを忘れた。30km離れた家までタイツを着たまま帰る。戻ってきたのは9時前。それから黒田へ行く。

ポイントまで歩いて歩いて到着したら眼鏡が曇って前が見えない。仕掛をセットしオトリを放つ。曳舟の位置が悪いので取り付け直そうとしたらもう掛かっている。段差に落とされないようにと上げようとしたら草にひかかって2尾とも吊りあがった状態。川の中に入ってタモですくう。ポイントを荒らしてしまい。一段上の瀬で1尾掛かったのみ。段々と水位が上がってきて濁りも出てきたように感じ場所を変える。コキノ橋下流に入るが雨が降ってきて水位も上がってきた。濁りもゴミも混ざって流れてきたので止めることにした。掛かったのは小ぶりの鮎ばかりであった。

はやく太陽の日差しのもとでやりたいものだ。



No.014

釣行月日: 2008年07月02日(水) 07:15~18:00

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 16°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: 増水, 濁無し, 周山0.58m

釣果: 18尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90, 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

天気の良い日にと今日は期待して行く。まずは上流から始めることに。しかし、掛かりそうな所を攻めても掛からない。オモリをかましてようやく1尾。しかし、その後掛かる気配がないので、別の場所へ移動。いつも掛かる所なのにと首を傾げる。他の釣り人を見てたら掛かる。しかし、溜めてたら外れる。次もしばらくしてたら掛かる。これも外れる。次も外れる。全く数が伸びない。また場所を変えることに、中江橋まで来ると解禁日並の人。とりあえず空いているところで2尾掛けて場所移動。殿橋上下かなりの人である。かなり上流は空いているので入る。ここで時間も良かったのか14尾追加。今度は吊橋に移動。しかし2尾のみ。最後、栃本橋に入る。1尾めは直ぐに掛かるが、次から悪夢となる。大きな枝が沈んでいることを知らずに泳がせて何だかゴリゴリとするので様子を見ようとする切れてオトリ損失。気を取り直しやるが根掛かりで損失計-2尾とついてない日となってしまった。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.015

釣行月日: 2008年07月05日(土) 07:20~18:10

天気: 晴時々曇り時々雨, 気温: ?, 水温: 18°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水, 濁無し(周山0.46m)

釣果: 36尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 先掛: 7号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日は今年初めての黒田ポイントに入る。瀬のヨレで直ぐに来る。同じところでは来ず、少し変えると追ってくる。型も結構良く時より溜めてる途中で外れてしまうこともあり、大きめの針にすることでマシになった気がする。群れ鮎の釣りもハリスの長さ調節である程度掛かる事が判り勉強になった。



No.016

釣行月日: 2008年07月06日(日) 07:20~17:45

天気: くもり, 気温: 28°C, 水温: 21°C

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 朝方若干濁有り(周山0.49m)

釣果: 23尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.2, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 先掛: 7号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

最初、小滝に入るけど30~40分やって掛かる気がしない。どうも石の色が悪く、場所移動。不動も石の色が悪く掛かっても小さい。2尾で止める。上流へ向かうけども人が多くやる気にならない。中野橋まで来ても車の列。さらに上流へ、結局昨日の場所へ入る。中ちゃんに車を見つけられ終了まで一緒に釣りをすることに。

我慢の釣りであるがそこそこ掛かって良かった。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.017

釣行月日: 2008年07月08日(火) 08:35~18:00

天気: くもり時々雨後曇り時々晴, 気温: ?, 水温:

河川: 上桂川(京都府)

水況: 高水, 濁有り, 周山0.53m

釣果: 21尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

報知オーナカップ上桂川予選。家を出るときには雷が鳴っている。水位の情報を見たら周山で10cm弱上がってきている。この分だと濁りが出るかもしれないなあ、と思いながら出発。細野経由で回り道をして川を見ながら本部へと向かう。弓槻大橋では濁りも無いようだ。しかし、周山大橋に来ると弓削川から濁りが出ている。コキノ橋辺りでも濁りがあるが、本部の中江橋では濁りも殆んど無く水位もまだ高くなっていない。

花脊辺りで降っていないければ何とか出来そうと思っていた。一回戦は山稜橋周辺、今年はまだ入っていない所。濁りもあることから小場所のヨレ狙いで細かく釣る作戦。今年の傾向として流芯やきつい所ではあまり掛からず、芯から外れたヨレた石の周りなどで掛かるようなので、そういった場所を探して入る。込み8尾で何とか通過。

二回戦は午前中あまり良くなかった中野橋周辺。先週、組合の大会があったためかかなりの人で入ることすらできなかつた所。昔入った記憶を辿りながら濁りの中波と薄っすら見える黒い石や岩盤を狙って流れの弱い所、ちょっとした溝や溜まりを泳がせてみた。何故か殆んどの人が橋の下流側に入っていた。上流は昔やったころもあるので人も少なくポイントを探り放題でなんと4尾掛けることができたが、最初の1時間程橋のほんの下で粘ったのが良くなかったと反省。込み6尾は厳しいと思って検量してみると、6尾が2人で予選通過という嬉しい結果となった。

本部に戻りHFCの中ちゃんの結果を聞くと予選通過との事。一緒に全国大会へ出場できるのも嬉しいことである。大会終了後、普段の釣りもしたいので中江橋辺りでやろうと思っていたが、中ちゃんがHFCの人達が山稜橋へ行くとのことと一緒にに行くことにした。小場所の拾い釣りで11尾であった。型は小さめ。



No.018

釣行月日: 2008年07月12日(土) 08:20~18:30

天気: 晴時々くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水気味, 濁無し, 周山0.39m

釣果: 25尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

神吉支部の大会に参加。減水気味なので少し柔らかめの竿としてみた。周山大橋周辺で、橋の上に入る。直ぐにオトリが変り5尾くらいまでは順調だった。その後1時間ほど掛からず。少し浅めの所で泳がせると掛かる。周辺で7尾追加して11時までには12尾、オトリ込み14尾で2位。1位は16尾。またもや中ちゃん親子にやられる。

午後からもあまり芳しくなくハリス切れバレなどもあり13尾といまいち。しかし、それなりに十分楽しめた。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.019

釣行月日: 2008年07月13日(日) 08:00~18:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水気味, 濁無し, 周山0.38m

釣果: 24尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

人の少ない黒田ポイントへ。減水で前回よりも石の色が悪くなっているような気がする。群れ鮎が対象なので群れ鮎を探す。見つけたらその群れに入れて泳がせて衝突事故で掛けるという戦法。今回の群れ鮎は上下に早く動きすぎて数は伸びない。4時前まで頑張ったが場所移動。殿橋上流が空いていたので入る。1尾バテて7尾追加。



No.020

釣行月日: 2008年07月19日(土) 07:20~18:00

天気: 晴時々くもり, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 古座川(和歌山県)

水況: 減水, 薄濁り

釣果: 27尾, サイズ: 15cm~24cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 先掛: 7号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

熊野で宿が取れなかったこともあり古座川でいつもお世話になってるやまさき屋が何とか取れたので古座川釣行とした。噂に聞いていた情報から厳しそうなので福地オトリ店に寄ってみると若鮎倶楽部の方がもう来られてたとか。券とオトリ3尾買って上流へと向かうけど見つからず。掛かりそうな瀬から始めたが何だかおかしい。掛かる気配が無い。上下歩いて周ってみるけれど暑さで自分の体が参ってしまいそう。あとは深い所のかけ上がりを狙ってみる。ようやく掛かった。2時間もかかったがやれやれだ。オトリが変ると早いもので10尾程掛かる。あたりが遠のいたので別の深場のかけ上がりを狙って1日やって27尾。途中倶楽部の方に合流でき、一緒に釣りも出来た。サイズは大きい小さいかの両極端。追い鮎よりは群れ鮎狙いの方が良さそうに感じた。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.021

釣行月日: 2008年07月20日(日) 06:30~18:20

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 60尾, サイズ: 7cm~20cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

前回, 本流に入った所から始める。状況が変わっていたら掛かるはずと浅場のチャラ瀬から始める。追われてるときは良く判り本来の当たりとなる。バラシや団子で切れたりボウズハゼの追いでどうもペースに乗り切れない。減水で日が高くなると高水温になりオトリの弱りが早くなる。そうなると掛かりが悪くなる。昼頃になると、遠いところから竿を持たずにこちらに歩いてくる。声を掛けてきたのは倶楽部の方であった。掛かって型も良いそうなのでそちらに向かう。しかしなかなか掛からない。ちょっと作戦を変え浅くなり比較的大きめの石があり色の良さそうな所で我慢して泳がせることに。何とか掛かり周辺でポツリポツリ掛かる。当たりが遠退いたので元の場所に移動して掛かるポイントを探して行くことにした。ようやく掛かるポイントが見えてきた感じ。本格的な追いはまだのようだが上昇傾向にあるには間違いない。もう少し水量が欲しいところ。



No.022

釣行月日: 2008年07月21日(月) 07:20~17:40

天気: 晴時々くもり, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 減水, 濁無し, 周山0.33m

釣果: 22尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 先掛: 7号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

日吉橋へ行く。下流は午後からは水温が高くなるので午前中行ってみることにした。石の色は悪くない。早速流れの緩いところでゆっくり泳がせる。結果6尾, ハリス切れバラシ2尾とイマイチ釣果が伸びない。昼前に黒田に移動。流石に減水しきって釣り人も殆んど居ない貸切で出来るのは嬉しいけど難しい。昨年掛かった所には鮎は見えず。別の場所で群れ鮎に遭遇。群れになっているときにだけ掛かるので効率はあまり良くない。ここでもバレが目立つ。獲り込んだのは6尾。場所移動。ここも人は居ない。さ~始めようと思ったら下流から声がする。見てみると子供らが深場で泳いでいた。竿を出さずに場所移動するには、この暑さでは体力が持たないのでとりあえずやってみることにした。泳いでたことによって深場の鮎が自分の方に追いやられて群れになっているのではないか。オトリを群れに入れて待つ。バレもあつたが10尾追加。水温が高いので数回根掛かりしたら直ぐに弱るのでオトリ操作には神経を費やすことになる。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 023

釣行月日: 2008年07月24日(木) 08:00~17:50
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 25℃
 河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水, 濁無し, 周山0.31m

釣果: 21尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:

上桂川漁業協同組合の支部対抗競技会。

神吉支部として中ちゃん親子と自分が参加。支部の大会とほぼ同じポイントに各自入ったようだ。自分は周山大橋の上で2尾。掛からなくなったので、日陰になる橋の真下に入ってみる。ヨレなどで5尾追加。橋の真下とあって9mの竿でも橋にあたりやり辛い。しかし殆んど竿が出てないと思って攻めてみたのが正解だったのか？

残り30分となったので橋の下の浅瀬で2尾追加。オトリ込み11尾。

中ちゃん父親はオトリ込み19尾, 子はオトリ込み12尾。合計42尾で神吉支部が1位。初優勝とは嬉しい限り。

昼食後, ポイントを変えて3人+監視員役だったこもちゃんも釣りを行う。

午後からは12尾であった。もう少し掛かると思っていたが…。



No. 024

釣行月日: 2008年07月26日(土) 10:30~17:00
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 25℃
 河川: 益田川(岐阜県)

水況: 濁無し

釣果: 15尾, サイズ: 15cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

地元の名人にM名人・自分・中ちゃん親子らがポイントの紹介をしていただいた。大変有用な情報を得ることができた。その後, 2箇所周って15尾であった。いまいちポイントが見えてこない。同じところでは掛からず数を稼ぐにはどうしたら良いのか判らない。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.025

釣行月日: 2008年07月27日(日) 07:20~14:00

天気: 晴後曇り後雷雨, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 益田川 (岐阜県)

水況: 濁無し

釣果: 10尾, サイズ: 15cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

午前中は上流ポイントとなる所に入る。流石に厳しく広範囲に探って掛かるポイントを調べていく。ウグイも掛かるので掛かっても獲り込んでみなければ安心はできない。午前中は1尾バラシ, 9尾獲り込む。午後からは堰堤下のポイントに入るけど、雷が鳴り続け雨が降ってきて辺りが暗くなったところで止めることに。1尾掛かっただけであった。今回の下見で地元の名人には有用な情報や色んなことでお世話になり大変感謝。



No.026

釣行月日: 2008年08月01日(金) 07:40~10:10

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 益田川 (岐阜県)

水況: 濁無し

釣果: 2尾, サイズ: 20cm~23cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

第39回報知アユ釣り選手権・オーナーカップ全国大会。2度目の参加となる。それにしても名手らの人達で釣りができるのはなかなかないので貴重な大会である。1回戦は1ブロックとなり前回の下見で入った所であったが雷雨で十分見切れなかったのが悔やまれた。堰堤下で石がゴロゴロしてて良く掛かれば面白そうな所であるがあまりそうはいかなさそう。2尾はあまり時間も掛からず来たのだが、その後がウグイの連発で掛かる気配すらなくなり気分的に負けの状態。自分の近くで良く掛けてたと思って検量の時に同じ匹数だったので聞いてみると殆んどがウグイだったとか。他の方でもウグイにやられていた。敗退後は気になる人の釣りをみて勉強することにした。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.027

釣行月日: 2008年08月02日(土) 07:25~09:25
 天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃
 河川: 益田川(岐阜県)
 水況: 濁無し
 釣果: 6尾, サイズ: 15cm~23cm
 仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
 仕掛(糸): ナイロン0.2
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 ドリーム戦(敗者復活戦)に参加。Aブロック(25名)になり2位までが来年の全国大会の切符を手に入れることができる。公園裏辺りで上流の橋の下は下見で入ったことがあり掛かりそうだったが釣り人が見えてたので途中の瀬に入ることにした。瀬ではプールが幾つかあるのでそれらを丹念に探ろうとやった。1尾はすぐに掛かった。2尾目は弾かれたのか逆針が外れていた。別の筋で来たが溜めようとしてたら外れた。その後、なかなか掛からず。石の横の流れで来たが掛かり鮎が大きく獲り込みに苦勞。場所を荒らした様にしたのでほぼ川の中央に移動。別の流れから後半の釣り。もう1時間は切っていた。時間が無いので流れの筋を引き釣りに切り替えてポロポロと掛かった。もう数尾欲しかったが時間切れ。結果的にはオトリ込み8尾で2位だったが、4人居た。何と今回一緒に来てたM名人も8尾だった。プレイオフでやったが駄目だった。まだまだ修行が足りない。



No.028

釣行月日: 2008年08月03日(日) 07:30~18:20
 天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 25℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 濁無し, 周山0.29m
 釣果: 35尾, サイズ: 13cm~21cm
 仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:
 かなりの減水とあって厳しいだろうと思いつつながら、亀の甲橋は今年から架け替え工事が始まるので下流も変ると思い、行ってみることにした。数年前とは川相も変り、釣るのに立つ位置を考えてしまう。昨日までの大会の名手の釣りを思い浮かべながら釣ってみる。しかし、掛かるポイントが今いちぴんと来ない。石裏の掘れ込みや流れの細い筋を竿を寝かせて、引き釣り泳がせをやりながら、オトリが止まらない様に操作していく。入掛かりは無いもののポツリポツリと掛かる。バレも目立つ。場所を中江橋下流に移動。いつもなら人が並んで満員だが、何故か下流には2人しか居ない。これなら広範囲に釣りが出来るので引き釣りや上飛ばしなど色々試してみる。オトリが動けば反応するのか飽きない程度に掛かる。18時を過ぎたが35尾になるまで粘った。チャラ・トロで掛かるのでポイントさえ見つければ数も出ると感じた。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 029

釣行月日: 2008年08月09日(土) 07:00~18:40
 天気: くもり後晴, 気温: 27°C, 水温: 23°C
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 減水, 濁無し, 周山0.30m
 釣果: 29尾, サイズ: 10cm~22cm
 仕掛(竿): 銀影競技メガトルク急瀬抜90
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:
 水温の低いうちにオトリを獲っておきたいので早めに出かける。養殖をつルリンして1尾となってしまう。これで失敗したらまたオトリ店まで戻らなければならない。群れ鮎で衝突で掛かるのをひたすら待ち続けた。ようやく掛かり、なんとかオトリを買いに行く必要はなくなった。7尾しか掛からず、場所移動。中野橋下流で鮎が見えたので入ることにした。3尾獲り込んだけど2尾ハリス切れで数が伸びず。合計10尾である。次の場所は中江橋。上流のトロ場には群れ鮎が見える。早速、準備をしてオトリを放つ。2尾獲り込んで2尾バラス。どうも数が伸びずオトリも弱ってきた。下流へ場所移動かなりバレが目立つ。色々歩き回って1日やって29尾。最後まで2回続けてバレ・ケラレが続く。うまく行けば30尾強はいけてたのに残念。



No. 030

釣行月日: 2008年08月10日(日) 07:30~18:00
 天気: くもり後晴, 気温: 27°C, 水温: 25°C
 河川: 安曇川・広瀬(滋賀県)
 水況: 濁無し
 釣果: 105尾, サイズ: 7cm~16cm
 仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90
 仕掛(糸): ナイロン0.15
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨

内容:
 数釣りをたまにはと安曇川へ行くことにした。Sさんを誘って2人の釣行。常安橋というところに入る。とりあえず瀬のヨレでオトリ獲りと思って始めたはいいけどいきなり大きなウグイ? バレたので良かった。次はオトリにならない超ピリ鮎。次はようやくオトリになるサイズの鮎。まあ、手前でも鮎は掛かりすごい鮎の数。午前中41尾。午後からは上流へ歩いた人が多くてやりにくい。チャラで引き釣り泳がせて掛けていくけどバレが目立つ。下の人が4時頃に止めたので少しずつ下りながらやる。それからというものの良く掛かり三桁無理と思っていたが夕方良く掛かり達成。午後からは64尾。釣り人で竿一本分も無い所まで来るとんでもない人も居ていただつことも。こんなに広いところにわざわざ寄ってこなくてもと思うのだが・・・。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.031

釣行月日: 2008年08月11日(月) 07:50~16:30
天気: 晴後くもり, 気温: 28℃, 水温: 25℃
河川: 上桂川(京都府)
水況: 減水, 濁無し, 周山0.27m
釣果: 6尾, サイズ: 16cm~22cm
仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
仕掛(糸): ナイロン0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨
内容:

今日も暑い。殿橋上流から始める。1尾めは40分程かかった。その後はたまにしか掛からず。来ても肝心な所で外れる。中江橋, 吉野橋, 栃本橋と周ってもオトリの循環も悪く完敗。追う鮎が見つからず殆んどが群れ鮎である。



No.032

釣行月日: 2008年08月12日(火) 07:30~18:00
天気: 晴後くもり時々雨, 気温: ?, 水温: 25℃
河川: 熊野川(和歌山県)
水況: 減水, 濁無し
釣果: 72尾, サイズ: 12cm~18cm
仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
仕掛(糸): ナイロン0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨
内容:

何時もの所へSさんと釣りに行く。最初の養殖がちょっと泳ぎが悪く、流れの緩やかな所ではごまかしがきかないように掛かる気配が無い。波立ちの浅瀬でようやく天然に替えられた。その後10尾程は順調に掛かった。午前中は瀬を、午後からはトコで攻めてみた。初日はそれなりに掛かったので満足。今回も川湯温泉の大村屋で泊まりくつろぐことに。同行者30尾。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.033

釣行月日: 2008年08月13日(水) 07:15~18:00
天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 25℃
河川: 熊野川・四村川 (和歌山県)
水況: 減水, 濁無し
釣果: 21尾, サイズ: 13cm~18cm
仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
仕掛(糸): ナイロン0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

高津橋下流へまず入る。あまり掛からず, 場所移動。出合付近の四村川, 大塔川辺りを攻めてもケラレや掛かり所が悪くオトリの循環も悪く本日はどうも駄目。同行者も2尾と厳しかった。昨日の場所も途中考えたが敢えて行かず頑張ってみた。



No.034

釣行月日: 2008年08月14日(木) 06:50~18:00
天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 25℃
河川: 熊野川 (和歌山県)
水況: 減水, 濁無し
釣果: 66尾, サイズ: 10cm~18cm
仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175
仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

掛かることが判ってる何時もの所でやることにする。竿も変えて気分転換。瀬で良く掛かり午前中34尾。午後からはトロも含め少しポイントを変えてみたがあまり釣果が劇的に変わったことも無かった。同行者は50尾と過去最高だとか。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 035

釣行月日: 2008年08月15日(金) 07:00~17:50
 天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 25℃
 河川: 熊野川(和歌山県)
 水況: 減水, 濁無し
 釣果: 100尾, サイズ: 10cm~18cm
 仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG
 仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

熊野釣行も夏休み最後の日となった。今日も同じ場所。掛かるという安心感からだ。いつもお世話になっている谷口オトリ店で水を仕入れに寄り暫し話を。釣り人も多いけど水温が高く養殖が弱り管理に苦勞されていた。もうそろそろ雨が降って水温が下がって欲しいものだ。毎日の様に攻められていることもあり厳しいながらポイントを丁寧に攻めるしかないと思いやってみた。少しポイントも変え攻め方も変えてみることにしてみる。びっくりしたことに小石でも掛かったことである。オトリ任せで暫く様子を見てたら掛かった。同行者にも小石でも掛かると伝えたら、今まで背にしてた側に足を泳がせてやってみたらやはり掛かった。一時入掛かりもあり負けてしまうと本腰をいれてポイントを探す。オトリの循環がいまいちだったが午前中31尾まで掛かった。一服して、今度は浅トロで始め10尾程入掛かり。しかし、2尾ほどバレ本調子ではない。ポイントを変え釣り人が立つ所辺りの岸を攻め掛けていく。何故か午前中やって掛からなかったのか誰も居なくなった。夕方真ん中に立ち兩岸を攻めてみたところ、驚くほどに掛かり三桁は無理と思っていたが、行けそうなので頑張ってみることにした。17時50分頃に達成できたのでやめる事にした。時間、場所、立つ位置で釣果も大きく変わるのだなと勉強になった。



No. 036

釣行月日: 2008年08月16日(土) 09:00~18:20
 天気: 晴後曇り時々雨, 気温: ?, 水温: 26℃
 河川: 上桂川(京都府)
 水況: 減水, 濁無し, 周山0.27m
 釣果: 19尾, サイズ: 15cm~22cm
 仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
 仕掛(糸): ナイロン0.175
 仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

比較的鮎の見える漁業協同組合下流へ入ることにした。段々と川遊びする人らの中で釣るのはあまり集中できるものではなかった。途中、小倉プロも来られ釣りをされていた。鮎は沢山見えるがなかなか掛からず、かなり難しい。バレやケラレもあり思うようにはいかないものだ。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 037

釣行月日: 2008年08月17日(日) 09:40~17:50

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 26℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水, 濁無し, 周山0.27m

釣果: 18尾, サイズ: 16cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

夏休み最後の釣行。9日間連続は流石に疲れが来てるのか朝起きるのが遅くなってきた。

魚ヶ淵では釣り人も殆んど居なかったので竿を出すことにした。やはりまずは群れ鮎狙いで元気なオトリを確保することにした。1尾めは掛かりが悪く直ぐに弱って使い物にならず、途中曳舟の中で死んでしまっていた。場所を下へ下がってみると淵のかけ上がりで群れ鮎が見えた。そこでかなりの時間を要したが少しずつ野鮎が増えていく。途中鼻環から逆針にかけて切れ掛かり鮎逃げる。10尾になったところで下の瀬に移動。今までの見釣りで学習したことを試してみる。追う鮎は針ハリスを短めに、群れ鮎狙いでは針ハリスを長めにするとうまい様に思えた。瀬では針ハリスを短めにして釣ることにした。上飛ばしで糸ふけを十分取り泳がせてやると掛かる。23cm級が来てそれをオトリにしてやると勢い良く目印が飛ぶ。喜ぶのはまだ早かった、石擦れでダブル放流。その後も掛かったが奇形が2尾とイマイチ乗り切れなかった。あのダブル放流はもったいない。



No. 038

釣行月日: 2008年08月23日(土) 07:10~17:40

天気: 雨時々くもり, 気温: 22℃, 水温: 23℃

河川: 安曇川・広瀬(滋賀県)

水況: 若干濁有

釣果: 90尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

M名人に誘われて安曇川・広瀬に行くことにした。雨からのスタート。チャラで入掛かりだったが、雨が降り続き途中で濁りが出てきた。その頃当たりが遠退く。水も増えてきたので瀬よりも手前の流れの緩い所で掛かる様なので、その様な所ばかりを攻めてみた。M名人105尾と15尾の差だった。同行された僕のファンといていた?方とお会いすることができた。偶然にも、熊野の谷口オトリ屋で何ってた方だったとはまたびっくり。いつも当HPを御覧頂いているようで釣行記を自分よりも良く覚えていることも凄い。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 039

釣行月日: 2008年08月24日(日) 07:40~18:20

天気: くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水, 濁無し, 周山0.35m

釣果: 0尾, サイズ:

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨,

内容:

今日が最後の上桂川となるだろう。中江橋から始める。橋脚の麓でやる。掛かり鮎がぐねっているので引き上げようとすると外れる。周辺で泳がすが掛からない。下流へ歩いて行くけども掛からない。場所を黒田へ行き群れ鮎狙いとしたが、ここも針に鱗が付いていただけで、掛かった鮎もいたが途中で外れる。山稜橋に移動してやっても、岩盤で掛かった鮎が一気に下の対岸に走られブッシュの枝に絡みそうだったので竿を上に乗せて避けようとして何とか外れたら外れる。オトリももう限界にきたようだしオトリをおかわりしようとして下に下ってたら中ちゃんを発見。オトリを借りてやることに。しかし、ここでも掛かったと思って溜めて引き抜こうとしてたら外れる。もう今日は限界で1尾も獲り込むことが出来なかった。最後の最後で完敗となってしまった。



No. 040

釣行月日: 2008年08月30日(土) 06:40~18:00

天気: 雨時々くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・広瀬(滋賀県)

水況: 濁無し

釣果: 97尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

和歌山へ行こうと考えていたが雨で無理かとも思い安曇川へ予定変更。オトリを1尾だけ購入。しかし、先週に比べ朝早くから結構釣り人が多い。雨も降りあまり良い条件ではない。場所も殆んど移動できないので動かず自分の上下のみで流れの筋や泳がせるコースを色々変えてやる。三桁まで頑張ってみたが3尾足らず。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.041

釣行月日: 2008年08月31日(日) 07:00~17:40

天気: 雨後くもり, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 高水, 薄濁り

釣果: 40尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

宿を予約していたので熊野川へ。谷口オトリ店に行くとき大塔川の水位が高く濁りがある。本流との出合下流は高水と厳しそう。今日はオトリ店の話によるとG F Gの大会があるそうで高津橋周辺に入るそう。自分は何時もの所へとりあえず行ってみる。びっくり、川相が変わってしまっていた。その周辺では落ち着いてないであろうから別のポイントを攻めることに。ト口場でとりあえず竿を出す。掛かったと思って溜めようとする対岸へ一気に引きこまれようとする。これは鮎と違うぞ〜と糸が切れないように慎重にしてたら外れる。引き寄せたらボウズハゼが掛かっていたが、傷が・・・。何かが衝えてたのだろう。場所を瀬肩に変え泳がせてようやく掛かる。その後数尾掛かっただけ。歩き回ってもポツリポツリで掛かるポイントが見えてこない。結局、瀬肩中心で粘ることにした。途中、ゴミが流れてきて濁りも少し入ってきてる。上流で雨が降ったのか? いやな予感。瀬肩を少しずつ上流へ移動して行くと掛かる。途中、入れ掛かりになり引いても掛かり40尾となったところで止める。明日もここでやってみよう。



No.042

釣行月日: 2008年09月01日(月) 07:40~18:00

天気: 雨後くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 65尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

今日は天気が良くなると期待してたら朝起きると雨が・・・。溜息、ここ最近良い天気が無く気分的にも下降気味。雨が止むまで待って大村屋を出る。谷口オトリ店で氷を頂き釣り場へ。早速、昨日のポイントへ行く。4尾掛かったが掛かるペースが遅すぎる。かなり水が引いて状況が変わったのか? 気になる淵の所まで歩いてみることにした。意外や垢が飛んでいない。鮎も見えるのでオトリを泳がせてみるがかけ上がりで押しが強くどんどん下流へ、あと少しで瀬に飲み込まれそうと思ってたら掛かる。それから十数尾掛かる。中には真黄色の鮎もいた。当たりが遠退いたので、別の場所へ。

昼過ぎにはヘチを中心に攻めてオトリの循環が良くなってきたら飽きない程度に掛かり18時になったところで止める。泳がせの上手い人なら三桁は行けるだろう。時間と場所で当たりとハズレは紙一重。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 043

釣行月日: 2008年09月06日(土) 06:45~17:50

天気: 晴時々曇り, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・広瀬 (滋賀県)

水況: 濁無し

釣果: 95尾, サイズ: 7cm~17cm

仕掛(竿): VS銀影競技SPT中硬90

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 超早掛け: 7号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

明日はHFCの大会に参加する予定なので近場の釣行。何時もの所で始め、今回は立つ場所を反対側からやる。オトリ1尾だけなのであまり無理は出来ない。天然に変えるのに15分位かかった。しかし、前回とくらべかなり掛かりが渋い。監視員が途中で回ってきて、厳しいやろ!?!と言われる。いつもの半分くらいだと言う。手前で掛かるのが掛からない。あまり掛からないので下流の瀬に移動。ここはそんなに釣り人が多くなく荒れてないだろうとやってみる。意外と良型でベタ竿で引いても掛かった。錆も出掛かっておりもうそろそろ安曇川は終わりか?



No. 044

釣行月日: 2008年09月07日(日) 08:30~18:00

天気: 雨後曇り時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: 濁無し

釣果: 48尾, サイズ: 10cm~23cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

HFCの大会。結果3尾の込み5尾で中ちゃんと同じで順位は半分よりは少し上くらいでしょうか。野鮎は大きいですが数はあまり出ない。昨年よりは良く無さそう。皆で昼食後、自分らは荒川地区へ行くことにした。ここの鮎は小さいが数は居る様で、時間10尾程掛かり14時前から18時まで45尾とまずまず。風が強くなり辛いときもあった。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.045

釣行月日: 2008年09月13日(土) 07:30~17:00

天気: 晴後一時雨, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 27尾, サイズ: 13cm~23cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

今回はM名人とNさん2人の3人さんとの釣行。二駆では行けない所に行くことにした。まずは萩の瀬。瀬肩で午前中21尾。午後からは本宮大社に行く。ここの鮎は大きい。ドンブリあり, 夕立ちありその後掛からず。釣果はあまり良くない。皆で宿に泊まり夕食をしながら鮎談義。明日の場所をどうしよう。



No.046

釣行月日: 2008年09月14日(日) 08:30~17:00

天気: くもり時々晴, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 18尾, サイズ: 13cm~23cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

宮井大橋に行くことにした。ダムが放水が止まっており減水となっていた。良さそうな瀬では1尾来ただけ, 右岸の流れは細くなり鮎は群れて掛かる気配は無い。橋の周辺で3尾掛かっただけ。昼からは上流へ向けて場所を見ながら行くけど釣り人の多さに入る余地無し。上流へ上流へ結局本宮大社の上流に来てしまった。型は良いけどあまり掛からず。苦労した甲斐も無く貧果となったが, 同行された方々と楽しく釣りが出来たので良しとしよう。もう少し掛かって欲しかった。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No. 047

釣行月日: 2008年09月15日(月) 07:00~17:50

天気: くもり時々晴後雨, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 78尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

同行されてた方々は昨日帰られ、今日は独りの釣行。昨日は凄い釣り人だったこともあり早めに出かける。天然オトリなので掛かるには時間がかからなかった。しかし、野鮎をオトリにして出すと途中海老になり引き寄せようとしたら切れて振り出しに戻る。自分の釣ってる上に人が入って来たのでこの場所は諦める。次のポイントへ移動。ここからは我慢の釣りとなる。掛かるまでは辛抱してやらないと後が続かないので慎重に泳がせる。ボウズハゼが掛からないように願いながら・・・。ポツリポツリと掛かり、掛かるポイントが見えてきた。昨日、場所移動してる時に見かけたポイントとは反対方向で掛かるようだ。夕方まで粘った甲斐があった。



No. 048

釣行月日: 2008年09月20日(土) 08:40~15:30

天気: 晴時々くもり, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 11尾, サイズ: 16cm~25cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨

内容:

恒例となった倶楽部のオフ会。台風13号でギリギリまで釣りが出来るかどうか決まらない状態であったけど、紀伊半島の西側ではそんなに影響が出なかった。無事に大会が開催できたことに感謝。

今年の状況も昨年同様良くない。数釣りの有田が大アユ釣りに変化している。昨年と同様の場所から始める。石の色も良くなく掛かるかどうか不安だったが、そんなに時間がかからなかったが鮎が大きすぎて仕掛けが対応できていない。何尾かハリス止めから切れることもあり数も伸びず終了。大きさによる重み付けポイントもあり結果5位。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.049

釣行月日: 2008年09月21日(日) 08:30~17:30
天気: くもり一時雨, 気温: ?, 水温: 25°C
河川: 日高川(和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 21尾, サイズ: 15cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175, 複合メタル0.05

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨

内容:

数釣りとは大きくない鮎を求めて日高川へ。倶楽部数人と同行。美山に入るが、ポイントがイマイチ良くなかったのか午前中ということもあってか最初はオトリがなかなか変らず変ってからバラシもあったが7尾。

11時頃には止めて原日浦へ移動。人も多く空いてる所へ入る。しかし掛かる鮎が自分には大きすぎて獲り込みに時間がかかり過ぎ手返しが良くない。ここでもハリス切れ多発, バレもあり調子に乗れなかった。



No.050

釣行月日: 2008年09月22日(月) 08:30~17:30
天気: くもり後晴, 気温: ?, 水温: 18°C

河川: *****

水況: 若干濁有

釣果: 46尾, サイズ: 7cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15, メタル0.02

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

熊野川の釣行を予定していたが台風の影響で釣りにならないと思い急遽釣りの出来る河川へ変更。

オトリを仕入れてコンビニで日釣り券を購入。釣り人も多いようだ。掛かるポイントが見えないので探りながらやるけど掛かる鮎は小さくオトリには厳しいがそれでもオトリにしながらやる。午前中は寒く体が震える程である。昼頃からようやく晴れてきて水温も上がってきたのかチャラ瀬で掛かるようになった。葦の際も掛かった。最盛期は終って鮎も錆びている。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.051

釣行月日: 2008年09月23日(火) 08:30~16:30

天気: 晴後くもり, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: *****

水況: 濁無し

釣果: 70尾, サイズ: 5cm~23cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角ライト: 6号4本錨, 一角ライト: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

昨日、濁りがあったのにもうスイスイ。今日は藤吉・トシちゃんも合流して釣りをした。グレイヘアさんと牛之助さんも来られてました。よく掛かる時期は過ぎたようで厳しかったようです。掛かる鮎の8割はザラザラで錆びも出てきている。曳舟から出すと錆が取れるのもあった。風が強くナイロンのオバセを十分に出せなかったのが残念だが、それなりの所では掛かったので楽しかった。盛期では三桁は行けてただろうと感じた。同行のSさんもそこそこの釣果だった。



No.052

釣行月日: 2008年10月22日(水) 08:30~17:00

天気: くもり時々雨, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 43尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

およそ一ヶ月ぶりの釣行。国道168が17日から通行止めとなっている。国道169を通過して谷口オトリ店に向かう。40分程時間がかかったが無事に熊野入り。いつもの所へ。しかし、前日までと違い寒い雨が降りそう。わざわざ雨の日を選んで来たのかと言われそう。久しぶりとあって竿が重く感じる。今日は掛かるんだろうかと不安で慎重に泳がせる。寒さで持つ手が幾分震える。まるで解禁日のようだ。そう考えているうちに斜め上に目印が走る。何とか獲り込め一安心。結局、掛かった所は一ヶ月前と殆んど同じのようであった。同行者は12尾。釣ってる途中、右岸側から鹿が突進してきたこちらに向かってきたので怖いと思ってたら川を横切って対岸へ渡っていった。思わぬゲストに一瞬固まった。その日は大村屋で風呂に入り冷えた体には非常に良かった。ここの犬の名前(ペこちゃん)を皆知ってるんだね。九州から来てた女性の方は熊野古道が気に入ってるらしく良く来ているとのこと。独りで電車とバスで、いろんな方々が来られてるんだ。明日も釣る予定だが雨だと・・・。



2008年版 [釣行回数: 53回 平均釣果: 36.6尾 総釣果: 1,941尾 1日最高釣果: 105尾 最長寸: 25cm]

No.053

釣行月日: 2008年10月23日(木) 08:45~16:45

天気: 雨時々曇り, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 38尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

今年最後の釣行となるだろう。朝から雨が降っている。川湯温泉街から学校を過ぎて大塔川に架かる橋を渡る手前の崖をよじ登っていくサルを見て後姿が家の鮎太郎にそっくりだな〜と話しながらポイントへ向かう。

昨日から喉が痛く風邪をひいたのか? アンダーシャツを2枚, 鮎シャツを2枚着ての釣りを。昨日の寒さほどでなく幾分か温かく感じる。仕掛をセットして昨日の夕方やったポイントから始める。3尾ほど掛かるが, 後が掛からず。浅場では地元の人達が網を打ちまくる。掛からないので, 昨日掛かったポイントへ移動。雨が水面を叩いて鏡みたいな所がスリガラス状態で逆に反射が無く見やすい。鮎がキラキラするのも見え一時良く掛かる。周辺を歩いて釣りをしてみた。同行者16尾。今の時期にからすれば天気の話は残念だが満足に行く釣果であった。ちゃんとした追いで黄色い鮎で楽しかった。若干錆は出るものもあるが今月一杯は十分いけるのではないかと思う。

最後, 大村屋 (<http://www.oomuraya.net/>) で風呂をお借りして冷えた体を温めてさせて頂く。

谷口オトリのひとも手伝いに来られてて, ここの若女将も通称: 鮎太郎のことは知っていた。

今年のお礼を言って帰る。

旅館前の大塔川では来月から始まる仙人風呂の解禁に向けて準備をしていた。またこの界限は温泉で賑わうのだろう。

